

## I C T街づくり推進会議 地域懇談会@岩手県葛巻町 議事要旨

### 1. 日時

平成29年5月31日（水）13：30～15：00

### 2. 場所

岩手県葛巻町ふれあい宿舎グリーンテージ

### 3. 出席者

#### (1) I C T街づくり推進会議構成員

岡座長、村上構成員、牧野氏（石原構成員代理）

#### (2) 事業関係者

鈴木葛巻町長、觸澤葛巻副町長、柴田岩手県立大学名誉教授、阿部岩手ケーブルテレビジョン（株）社長 等

#### (3) 総務省

あかま総務副大臣、伊丹東北総合通信局長、高地情報通信国際戦略局参事官

### 4. 議事

#### (1) 事業概要の説明

#### (2) デモンストレーション

#### (3) 意見交換

### 5. 議事概要

#### (1) 事業概要の説明

葛巻町総務企画課より、資料1に基づき、システム概要や事業内容について説明が行われた。

#### (2) デモンストレーション

葛巻町の「マイナンバーカードを活用した高齢者健康見守り」のシステムを活用したデモンストレーションが行われた。

#### (3) 意見交換

主な発言は以下のとおり。

#### 【村上構成員】

- 今回、すでにほぼ 100%普及している光ファイバーネットワーク、テレビという身近なメディア、新たなマイナンバーカードによる公的個人認証技術という、現状の ICT 基盤をフル活用して先進的なサービスを行おうとするアプローチは非常に楽しみ。
- ICT 街づくりは ICT ではなく街づくりが主役。本事業では多様な利用者への丁寧なアンケートを行い、それを起点として ICT サービスを組み立てようとしていることがすばらしい。
- 利用者の支払い意向額と全体のコストの差を埋めていくには、今後、利用者の視点で、同じ基盤に多様なサービスを重ね合わせるとか、サービスを広域化する等の対応が大切。

#### 【牧野氏（石原構成員代理）】

- マイナンバーカードをボックスの上に置いただけで画面が立ち上がる仕組みは非常に良い。マイナンバーカードを使う動機の一つになり得ると思う。
- 見守る側の家族は非常に助かるが、見守られる高齢者に毎日使ってもらえるような動機づけがもっと必要。例えば、孫の写真が毎日 1 枚ずつ送られるといったゲームの仕組みを取り入れると面白くなってくると思う。
- 位置情報を活用したサービスで、どこかにチェックインするとポイント付加されてランキング表示されるようなものもある。やはりこういうゲーム性が必要であり、アイデアコンテストを開催して学生などの若者に来てもらってアイデア出ししてもらおうと、中々身内では思いつかないようなアイデアも浮かぶことがある。

#### 【觸澤葛巻副町長】

- 本事業を持続可能なサービスとするためには利用者料金の設定が課題。利用料金だけでは賄えない事業費の残りについて、公的な機関として負担をしっかりとしながら運営していかなければならないが、財政力の弱い我々のような自治体にとっては非常に大きな負担になる。
- 通信事業者もコストを安価に抑える努力をして頂いているところで、今年度も引き続き実証を行いつつ、利用者のニーズに合わせた新たなサービス開発も含め運用面の工夫をしていきたい。

#### 【柴田岩手県立大学名誉教授】

- 若い人をどう惹きつけ、若者をどう活用するかが大事。持続可能性が高い

モデルを作るために、今後はLPWAなどを活用したコストエフェクティブなサービスも検討していきたい。

- 成功例をつくるというのは非常に重要。正直、岩手県内を見ると、元気があるところは少なく自分のところしか見ていないところが多い。良い成功モデルをつくってその市町村にあった情報システムやサービスを考えて展開すると、どんどん広がっていくように思う。

#### 【鈴木葛巻町長】

- 葛巻町の町民は、行政が力を入れていると本気度が伝われば一緒に連携してくれる風土があり、都市部というよりは葛巻町のような山村部でこそ、高齢者の見守りの必要性が高く効果も出やすいと考えている。
- 高齢者見守りのほか、ドローンを活用した買い物支援など色々なものを含めて全て一つの町で見られるというような、成功事例をつくる方向でぜひ力を入れて頂きたい。
- 葛巻町では若い人に外から住んでいただき、起業家を育てたいと考えている。葛巻町ではWi-Fiなどの情報通信基盤の整備も行ってきており、引き続き環境整備を行っていく。

#### 【岡座長】

- 最初は幅広く実証テストを行い、その中から成功モデルと言えそうなものを幾つか選び横展開するという考え方でここ4年間行ってきているところであり、今後も推し進めていくことになる。
- 葛巻町と同じく山村部に位置する徳島県神山町でも、今若い人がどんどんやってきている。サテライトオフィスを拠点として東京本社と連絡がとれるような通信基盤を整備しており、この事業をきっかけに若い人が移住することで商店街が復活するなど、外から人を呼び込むことに成功している一つの事例といえる。
- 情報インフラさえあればどこでも仕事ができるので、町長のリーダーシップで地元の人と協力しながら、若い方々が行きたくなくなるような魅力ある街づくりを目指して頂きたい。

#### 【あかま総務副大臣】

- 総務省としてもマイナンバーカードの普及に一生懸命に取り組んでいるところだが、全体ではまだ1,100万枚程度。葛巻町のような取組が実践されることは大変望ましい。
- 神奈川県でも見守りは大きな課題。現状、民生委員などの負担も非常に大

きいが、こういったシステムを導入しても高齢者は関わろうとしないことが多く、アンケート調査などで声を拾っていくことが重要。

○町長が常に前にという挑戦を続ける中で、I C Tを使った街づくりのよい成功例となっていたきたい。

以上